

SDGsの達成に向けた廃棄消防ホースのリサイクル (愛媛県新居浜市)

取組概要

SDGsの達成に向けた廃棄消防ホースのリサイクル



人口 116,052人 (R4.1.1現在)

担当 消防本部予防課

取組の効果

【傘入れ】

- ・ビニールの傘入れと違いゴミの発生が抑えられ循環型社会への貢献が認められる。
- ・雨天時に庁舎内が濡れることによる滑りや汚れが軽減され、職場の安全性が向上した。
- ・「つけよう!! 住警器」と文字を注記することで住宅用火災警報器の広報ができた。
- ・実際に現場で使用していたホースの一部を来庁者に見て、触れてもらうことにより消防へ興味関心を持ってもらえた。

【要救助者救出器具】

- ・レスキュー帯については、救急車へ配備し、実資機材として活用している。
- ・浴槽内等の狭隘な空間で意識を失った傷病者は、救出が難しく傷病者を落下させるリスク、隊員が膝を痛めるリスク等があったが、軽減された。



- ・消防ホースを傘入れに加工
- ・傘入れには住宅用火災警報器の普及促進のため文字を注記する。

創意・工夫した点

- ・消防ホースの特徴である防水性を活用した傘入れ、高い強度を利用した救急隊が使用する要救助者救出器具(レスキュー帯)等、消防ホースの特性を利用した。

他団体へのアドバイス

- ・廃棄される消防ホースは材質としては、丈夫で高性能、高品質であり、また、様々なものへの加工が可能です。仕事を終えた消防ホースをぜひ、日常に利用する新しい物へ生まれ変えてみてください。



救急車への積載